

## 野口記念館開館60周年記念式典と「野口遵翁生誕祭」

### 《一延岡市と主催して開催一》



昭和30年に旭化成工業株式会社（現旭化成株式会社）が延岡市に寄贈し、延岡市の文化の拠点として市民に親しまれている野口記念館が今年開館60周年を迎えました。これを記念するとともに、命名の由来となった同社の創業者野口遵翁の功績を讃えて、生誕の日である7月26日（日）延岡市と当野口遵顕彰会が主催して開催しました。

当日、野口記念館には約600人の市民が出席して、野口遵翁への感謝を込めて「献花」を行い、同氏の功績を紹介した『パネル展』などを見学しました。



<写真提供：延岡市>

## 第2回「野口遵翁生誕祭」

### 《一延岡市と主催して開催一》

昭和30年に旭化成工業株式会社（現旭化成株式会社）が延岡市に寄贈し、延岡市の文化の拠点として市民に親しまれている野口記念館が、昨年、開館60周年を迎えこれを記念するとともに、命名の由来となった同社の創業者野口遵翁の功績を讃えて、生誕の日である7月26日（火）延岡市と当野口遵顕彰会が主催して初めて開催しました。

今年も昨年に引き続いて生誕の日である7月26日（火）に、野口記念館において第2回目として延岡市と当野口遵顕彰会が主催して開催しました。

岡富中学校生徒による「延岡市歌」の斉唱で始まり、延岡市長、他「野口遵翁への祝いの献花」等につき、「ジュニア科学者の翼」第15回（昨年）派遣研修生の南太貴くん（西階中学校3年生）がメッセージを述べました。出席した皆さん（約100名）は、野口遵翁の胸像の前で献花をしてその功績を偲びました。また今回は、イオン九州 延岡店の1階催事場において、「野口遵翁の功績と延岡」をテーマにパネル展を開催しました。多くの皆さんにご来場いただきました。



岡富中学校生徒の皆さんによる「市歌」斉唱



銅像に献花するみなさん

## 第3回「野口遵翁生誕祭」

### 《一延岡市と主催して開催一》

延岡市の文化の拠点として市民に親しまれている野口記念館の命名の由来となった旭化成の創業者野口遵翁の功績を讃えて、生誕の日である7月26日に延岡市と当野口遵頭彰会が主催して、平成27年より「野口遵翁生誕祭」として野口記念館において開催しています。今年で3回目となりました。

岡富中学校生徒による「延岡市歌」の斉唱で始まり、延岡市長などによる「野口遵翁への祝いの献花」等につき、「ジュニア科学者の翼」第16回（昨年）派遣研修生の公文菜穂さん（尚学館中学校3年生）が若者を代表してメッセージを述べました。

そして、出席した皆さん（約100名）は、野口遵翁の胸像に献花しその功績を偲びました。

また生誕を記念して、パネル展「野口遵翁の功績と延岡」を延岡市役所1階市民交流スペースで、その後イオン九州延岡店に会場（1階催事場）を移して開催しました。多くの市民の皆さんが来場しました。



岡富中学校生徒の皆さんによる「市歌」斉唱



胸像に献花するみなさん

## 第4回「野口遵翁生誕祭」

### 《一延岡市と主催して開催一》



延岡市の文化の拠点として市民に親しまれている野口記念館の命名の由来となった旭化成の創業者野口遵翁の功績を讃えて、生誕の日である7月26日に延岡市と当野口遵頭彰会が主催して、平成27年より「野口遵翁生誕祭」を野口記念館において開催しています。今年も生誕の日に開催しました（4回目）。

岡富中学校生徒による「延岡市歌」の斉唱で始まり、延岡市長などによる「野口遵翁への祝いの献花」等につき、「ジュニア科学者の翼」第17回（昨年）派遣研修生の馬崎清香さん（南中学校3年生）が若者代表としてメッセージを述べました。そして、出席した皆さん（約100名）は、野口遵翁の胸像に献花しその功績を偲びました。

また今回は「生誕祭」行事の一環として、野口遵翁が事業家として初めて鹿児島県伊佐市（大口）に明治42年（1909年）に建設しました曾木発電所（第2）遺構の視察を計画しました。8月4日（土）好天に恵まれ、延岡市のマイクロバスを利用して15名の皆さんが視察しました。

この遺構は、明治時代の洋風建築物（レンガ造り）で貴重な“産業遺産”となっています。遺構の下流には鶴田ダムがあり、通常は水没していますが、洪水に備えて水位を下げる5月から9月にその姿を現します。対岸から見たその姿（幅43m、高さ19mの2階建）は中世ヨーロッパの居城跡を思わせるもので、野口遵翁の偉業を偲ぶことができました。

また、すぐ近くにある東洋のナイアガラと呼ばれている「曾木の滝」（幅120m、高さ12m）を見物し、帰路にえびの市にあるコカ・コーラえびの工場を見学しました。



## 第5回「野口遵翁生誕祭」

### 《一延岡市と共催して開催一》

延岡市の文化の拠点として市民に親しまれてきた野口記念館の命名の由来となった旭化成の創業者野口遵翁の功績を讃えて、生誕の日である7月26日に延岡市と当野口遵顕彰会が共催して、平成27年より開催しています。

今回は、野口記念館が新しく生まれ変わる工事に着手しており使用できないため、会場を旭化成向陽倶楽部および隣接する野口遵翁の銅像前に変更して開催しました。「生誕祭」は、主催者あいさつ、来賓あいさつに続いて『ジュニア科学者の翼』第18回（昨年）派遣研修生の中西彩弥子さん（聖心ウルスラ学園聡明中学校3年生）が若者代表としてメッセージを述べました。そして、野口遵翁の事業に対する信念や生き方を収録したDVDを皆さんに見てもらいました。

終わりに、隣接する野口遵翁の銅像前にて「野口遵翁への祝いの献花」等につき、出席者全員（約80名）が、野口遵翁の胸像に献花しその功績を偲び感謝しました。



## 第6回「野口遵翁生誕祭」

### 《一延岡市と共催して開催一》

延岡市の文化の拠点として市民に親しまれてきた野口記念館の命名の由来となった旭化成の創業者野口遵翁の功績を讃えて、生誕の日である7月26日に延岡市と野口遵顕彰会が共催して開催しています。

今年も、新野口遵記念館が建設工事中のため旭化成向陽倶楽部にて開催しました。今回は、世界中で猛威をふるっている新型コロナウイルス感染防止の観点からこれまでの内容を縮小して、関係者を中心に実施しました。

「生誕祭」当日はあいにくの雨でしたが30名の皆さんが出席し、「野口遵翁への祝いの献花」、主催者あいさつ、来賓あいさつの後、昭和10年11月に延岡市を行幸された昭和天皇が旭化成ベンベルグ工場を視察された記録映像（DVD）を皆さんに見てもらいました。終わりに、出席者全員が野口遵翁の遺影に献花しその功績を偲び感謝しました。



## 第7回「野口遵翁生誕祭」

### ◀ — 延岡市と共催して開催 — ▶

野口遵翁の生誕の日である7月26日（火）に延岡市と野口遵顕彰会が共催して開催しました。

野口記念館が建設工事中のため昨年に引き続いて旭化成向陽倶楽部と隣接する野口遵銅像前にて行いました。今回も、新型コロナウイルス感染防止のため昨年同様内容を縮小して、関係者を中心に実施しました。

延岡市幹部や野口遵顕彰会役員など30名の皆さんの出席のもと、「野口遵翁への祝いの献花」、主催者あいさつ、来賓あいさつの後、工事が着々と進められています野口遵記念館のその後の工事の進捗状況などについて、延岡市「野口遵記念館建設室」の担当者から詳しく説明を聞きました。

終わりに、出席者全員が野口遵翁の遺影に献花しその功績を偲び感謝しました。



## 第8回「野口遵翁生誕祭」

### ◀ — 延岡市と共催して開催 — ▶

野口遵翁の誕生祭を生誕の日である7月26日（火）に、延岡市と野口遵顕彰会が共催して野口遵記念館にて約110名が出席して開催致しました。先ず、出席者による延岡市歌斉唱の後、「野口遵翁へのお祝いの献花」、主催者挨拶（読谷山市長、吉玉会長）、ご来賓挨拶（末次支社長、早瀬副議長）を行いその功績を偲び感謝しました。誕生祭の終わりに出席者全員が野口遵翁遺影に献花を行い、その功績を偲び感謝しました。

#### 【野口遵生誕祭式典】



## 第9回「野口遵翁生誕祭」

延岡市と野口遵顕彰会が共催する「野口遵翁の生誕祭」を7月26日（金）野口遵記念館にて開催致しました。

生誕祭には約100名が参列し、延岡市歌を斉唱した後、野口遵顕彰会吉玉会長、延岡市山本副市長、ご来賓の末次支社長、梶本副議長が順にお祝いの献花を行いました。引き続き主催者挨拶、ご来賓の挨拶が行われました。誕生祭の終わりには、出席者全員が野口遵翁遺影に献花を行いその功績を偲び感謝致しました。

また、7月19日～8月2日までの間、イオン延岡店1階において、『野口遵翁の功績と延岡の発展』をテーマとしたパネル展を開催し、野口遵翁の功績や旭化成と延岡の発展の歩みなどに関する貴重な資料を展示しました。

### 【野口遵生誕祭式典】

